

令和 8 年度「国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座」開催要項

児童サービスに従事する全国の各種図書館員等、児童書及び児童文学に関する知識を必要としている方の、幅広い知識の修得を目的として、児童文学連続講座を開催します。

1 総合テーマ

「絵本と体験」

2 形式

Microsoft Teams を用いて、講義をオンライン同時配信します。また、グループディスカッションを除く講義を録画した映像を後日配信します。

利用する PC、インターネット環境は、受講者が各自でご用意ください。また、Microsoft Teams の実行環境についても各自でご確認ください。**サービス利用に当たってのサポート等の個別対応は致しかねます。**ご了承ください。

3 開催日程

令和 8 年 11 月 9 日（月）、10 日（火）

※録画映像の配信日程や申込みについては、後日、当館ホームページでご案内いたします。

4 内容及び講師

別紙のとおり。なお、講座内容は都合により変更になることがあります。

開催前日までに、レジメを当館ホームページに掲載します。

5 参加費

無料

6 定員

400 名程度。ただし、オンラインによるグループディスカッションのみ定員 50 名（いずれも先着順）。

7 申込受付期間

令和 8 年 9 月 1 日（火）～10 月 20 日（火）

ただし、定員に達し次第、受付を終了する予定です。

8 申込方法

1 講義単位での受講が可能です。以下のフォームからお申し込みください。

[申込みフォーム](#)

問い合わせ先

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49

国立国会図書館国際子ども図書館企画協力課協力係

TEL：03-3827-2053（開館日の 9:30 から 17:00 まで）

総合テーマ「絵本と体験」

情報化が進むいま、子どもの成長や発達における現実世界での体験の意味が見直されています。また近年、絵本を介したさまざまな体験活動が展開されています。そこで今年度は、「絵本と体験」を総合テーマに選び、絵本がもたらす多様な体験とその意味について考えてみたいと思います。さらに、実体験をもとに作られた絵本や、経験を重ねることによって変わる読書体験にも注目します。

はじめに、子どもと絵本の関わりを理解するために、一人ひとりの子どもの読みや表現を尊重する視点を共有します。続いて、絵本が広げるファンタジー体験の魅力を、具体的な子どもの姿をもとに探ります。多様な読書体験を可能にするバリアフリー絵本と読書環境について理解を深めることができる講義や、私たちの体験や記憶と絵本の関わりについて、具体的な例を交えながら紹介する講義もあります。また、国際子ども図書館における絵本を用いた児童・青少年向けサービスについても説明します。そして昨年度に引き続き、参加者のみなさんにオンラインでグループディスカッションをしていただく科目も設けました。

子どもたちにさまざまな体験をもたらす絵本の可能性について、2日間の講義をとおして、いっしょに考えていきましょう。

監修 今田 由香（日本女子大学准教授、国立国会図書館客員調査員）

令和8年11月9日（月）

10:00～11:30

「絵本を活かす生活経験の質——一人ひとりを尊重するために——」

佐々木宏子（鳴門教育大学名誉教授）

……絵本と子どもの発達研究は、長年、「多くの子どもはこのような反応する～、だから…」という論理で進められてきました。しかし、児童文学（絵本）・芸術の研究はもっと子ども自身の固有性・唯一性が、尊重されるべきだと思います。どのようにすれば、子ども達一人ひとりの独自の読みとりや表現を尊重することが出来るのか？ 提案してみたいと思います。

13:00～14:30

「絵本とファンタジー体験」

富田昌平（三重大学教育学部教授）

……子どもは楽しいことを経験すると、何度も再現したくなります。遊びはそのようにして生まれますし、絵本は子どもの「やってみたい」の幅を広げてくれます。ホントではないけどウソッコで楽しむ。ありえないけどありそうな気がしてワクワクする。本講義では、絵本がもたらすファンタジー体験の魅力についてともに考えてみたいと思います。

15:00～15:40

「子どもと本をつなぐ国際子ども図書館のサービス」

国際子ども図書館職員

……国際子ども図書館では、子どもが本とふれあい、図書館や読書に親しむきっかけを提供するために、さまざまな取り組みを行っています。このうち絵本を用いたサービスとして、主に、子ども向けのおはなし会や、短時間で資料を使った調べものや創作を行う調べもの体験プログラムを紹介します。

令和8年11月10日（火）

10:00～11:30

「ようこそ、バリアフリー絵本の世界へ—Picture Books for All—」

攪上久子（公認心理師、バリアフリー絵本研究者）

……目の見えない息子、寝たきりのわが子、絵本など楽しめないと思われた子どもに、絵本がその扉を開くと、どんな絵本が生まれたのでしょうか。葛藤を超え、多様な人々を「ようこそ」と迎え入れたバリアフリー絵本。バリアフリー絵本の願いは、絵本の喜びがひとりひとりのものになり、図書館が共に在る場になることです。

13:00～14:30

「絵本と私たちの体験や記憶との関係を考える」

今田 由香（日本女子大学准教授、国立国会図書館客員調査員）

……絵本は私たちの人生に何をもたらすのでしょうか。幸せな時間を過ごしたり、知る楽しさに出会ったり、体験を語り継いだり、記憶を呼び覚ましたり、表現したり、絵本が関われることは他にもありそうです。本講義では、人生のさまざまな場面で絵本がもたらすものについて、「体験」と「記憶」という2つのキーワードをもとに考えます。

15:00～16:30

「グループディスカッション—体験と読書—」

今田 由香（日本女子大学准教授、国立国会図書館客員調査員）※モデレーター

……ふだんから本や子どもと関わっているみなさんと、「体験」と「読書」のつながりや在り方について語りあってみませんか。オンラインだからこそ、遠く離れた地域の方とも気軽につながり、交流することができます。

※この科目では、少人数のグループに分かれてディスカッションを行います。ディスカッション中はマイクとカメラをオンにさせていただきますので、ご了承の上お申し込みください。

※同じ室内から複数の方がグループディスカッションに参加される場合や、周囲の音が入りやすい環境で参加される場合は、ハウリングや音声の干渉を防ぐため、各自ヘッドセット（マイク付きイヤホン等）をご使用ください。

別紙

講師略歴（五十音順）

今田 由香（いまだ ゆか）

日本女子大学家政学部准教授。明治学院大学文学部卒業、日本女子大学大学院家政学研究科児童学専攻修士課程修了、博士（学術）。日本女子大学助教、浦和大学講師、同大学准教授、京都女子大学准教授を経て現職。絵本学会理事、企画委員長を歴任し、現在は日本児童文学学会理事。研究領域は絵本学、児童文学、児童文化。

令和4年度児童文学連続講座「絵本の現在—普遍性と現代性を考える」講師。

令和7年度から国立国会図書館客員調査員。

著書『トミ・ウンゲラーと絵本：その人生と作品』（玉川大学出版部,2018）

『絵本ものがたり FIND：見つける・つむぐ・変化させる』（共著、朝倉書房,2016）等

論文「ショーン・タンの物語絵本における「欠如の表現」に関する考察」（『日本女子大学大学院紀要・家政学研究科・人間生活学研究科』30,2024）

「The Three Robbers の表現様式」（『絵本学：絵本学会研究紀要』15,2013）

「大人を導く子どもの登場—T.ウンゲラーのニューヨーク時代の絵本を読む—」（『絵本学：絵本学会研究紀要』13,2011）等

攪上 久子（かくあげ ひさこ）

公認心理師、バリアフリー絵本研究。お茶の水女子大学博士課程修了、バリアフリー絵本研究で博士号（学術）取得。特別支援学校教員を経て、母子保健分野の心理発達相談員を長年務めた。女子美術大学では、学生とともにバリアフリー絵本制作研究に取り組んだ。

平成17年度「シンポジウム バリアフリー図書の普及を願って—図書館と出版の協働—」コーディネーター（国際子ども図書館・日本国際児童図書評議会（JBBY）共催）。

国際児童図書評議会（IBBY）「世界のバリアフリー絵本展（平成30年度からは世界のバリアフリー児童図書展）」の国際子ども図書館における開催（平成17年～令和2年まで計7回）にJBBY実行委員長として協力。

著書『ヒーリング・アートとさわる絵本：出版されているさわる絵本を考える2』（共編著、女子美術大学、2020）

『日本のバリアフリー絵本の展開と課題：共に育つ社会のドキュメント』（樹村房,2026）等

論文 Japanese Handmade Cloth Picturebooks for Children with Disabilities. *Bookbird: A Journal of International Children's Literature*, 60(4):2022.

「草創期のバリアフリー絵本：その成立史と解題」（『人間文化創成科学論叢』25,2023）

佐々木 宏子（ささき ひろこ）

鳴門教育大学名誉教授。教育学博士（聖和大学）。米国ジョージア大学家政学部准講師、鳴門教育大学助教授、同大学教授を経て、平成18年から名誉教授。この間、鳴門教育大学学校教育学部附属幼稚園長、鳴門教育大学附属図書館児童図書室長等も務めた。研究分野は絵本の主題分析による乳幼児の新しい発達理論の構築、絵本の読み聞かせとコミュニケーション能力の発達等。

著書『絵本は赤ちゃんから—母子の読み合いがひらく世界』（新曜社,2006）

『絵本の心理学—子どもの心を理解するために—』（新曜社,2000）

論文「新しい絵本と子どもの発達」（『発達』99,2004）等

別紙

富田 昌平（とみた しょうへい）

三重大大学教育学部幼児教育講座教授。上越教育大学卒業、広島大学大学院教育学研究科博士課程修了。中国学園大学子ども学部准教授、三重大大学教育学部准教授を経て現職。研究分野は乳幼児心理学、保育学。子どもの空想世界とその認識発達に関する研究を行っている。

著書 『新・育ちあう乳幼児心理学 -- 保育実践とともに未来へ』（共著,有斐閣,2019）

『幼児期における空想世界に対する認識の発達』（風間書房,2017）等

論文 「子どもと旅するファンタジーの世界(1)～(6)」(『発達』48～45,2023～2024)

「絵本からはじまる空想と現実との揺れ動きを楽しむ保育実践」（共著,三重大大学教育学部研究紀要（教育科学）73,2022）等